

蔵書の概要

全体的な傾向として、果樹や植物の各種栽培方法についてのものや、肥料、害虫駆除に関するものが中心です。

また江戸時代の著名な農学者である大蔵永常^{ながつね}や佐藤信淵^{のぶひろ}らの農書をはじめとする和綴本が多数あり、試農場の関心が明治期以前の書籍にもものびていたことがわかります。

さらに 1890 年代から 1900 年代にかけての洋書が多数みられ、当時の試農場が海外から最新の知識をどん欲に吸収しようとしていた様子が伝わってきます。



和綴本



洋書（雑誌）

和書／洋書	種類	冊数
和書	一般図書	187 冊
	雑誌	170 冊
	報告書	163 冊
洋書	一般図書	54 冊
	雑誌	46 冊
	報告書	17 冊
その他	和綴本	89 冊
	試農場関係	8 冊
合計		734 冊